

ぶる一む会報に関して

早いものでもう師走となりましたが、いかがお過ごしですか。今年の冬は暖かく感じますが、例年の平均気温と変わらないそうです。本格的な冬がやってきます。風邪などひかれないようにお気を付けください。

さて会報ですが、ぶる一むスタッフが原稿や、発送など、皆様の手元に届くことを考え日々作業をおこなっています。ぶる一むならではの視点をもって記事を書くこと。イベントや障害当事者の地域移行に関して。NPO 法人であるぶる一むにとっての活動報告や運動を皆様にお伝えできる大切なものと考えております。

そこで、今までは会員の方のみにお配りしていた会報ですが、今年度からは会員登録されていなくても前年度（平成27）に会員になられていた方々にも継続的に発送させて頂きたいと思います。

障害当事者の地域生活はまだまだ難しいものです。普通の人と同じように生活していくには問題ばかりです。当たり前自分の生活や人生を歩む。そして私たちぶる一むも壁にあたり下を向きそうになります。しかしこれからもぶる一むは迷い、考え、実践しながら障害者運動を進めていきます。そして、成長し、少しずつ地域を変えようとする自分たちを見て、知って頂きたいと考えます。会報を読んだ方々から声をいただくと、スタッフは大いに喜び、次回原稿にも力になります。ぜひ読んで声をお聞かせください。

重複してしまいますが、前年度から一度でも会員になって頂いた方々には厚かましいですが郵送させてください。そして、よろしければぶる一むを応援し、障害者があたりまえに暮らせる社会の実現に参加してください。

自立生活センター ぶる一む

コーディネーター 高尾竜太

093-562-5431

Cil-bloom@nifty.com

しょうがいしゃ

ちいき せいかつ しょうほうし



「障害者」の地域生活情報誌

Vol. 33

ぶるーむ.com

2016.11

あきごう
秋号

じぶん せいかつたの
～ 自分の生活楽しんでますか? ～



かわ そば
川の側でBBQ ♪ ♪



つ けっか わらい
釣りの結果は・・・(笑)

CONTENTS

- P2 JR沿線ウォーキング大会
- P3 Oh-Life!! 第16回
- P5 日々凡凡
- P9 活動報告

◆「ぶるーむ」の由来◆

英語のbloomをひらがな表記したものです。
bloomには、「(花が)咲く」「(才能・事業などが)花開く」などの意味があります。この北九州の地で、自立生活の土壌をあらためておこすことから始め、それぞれの自立生活の種を植え、色とりどりの自立生活の花が咲きほこるという願いをこめました。

JR沿線のウォーキング大会に参加して

田中雄平

北九州市が大分県の耶馬溪ダムから水を取るようになって20周年を記念した「北九州—中津ウォーキング大会2016」。行橋駅から中津城までの27kmコースに電動車いすで参加しました。

天候にも恵まれて、午前10時、気持ちよくスタート。

昼過ぎまでは汗ばむぐらいの暑さでしたが、夕方以降は急に冷え込んできました。

1か月前にやった『試歩』で車いすの途中充電が必要なことはわかっていたので、JR宇島駅で30分ほど充電をさせてもらいました。駅員さんのご厚意に感謝です。

これで全行程を自分の操縦で歩ききるつもりだったのですが、予想以上に冷え込んで手の指がかじかんだのと、途中で前輪に不具合が発生したのとで、結局、一緒に歩いてくれた介助者に半分以上押ししてもらいました。(^^;

夕闇せまる17時すぎ、無事にゴール。会場のテントで売っていたホットコーヒーが冷えた体を温めてくれました。

JR沿線を歩く今回のコース。体調不良や車いすの故障などで途中棄権、電車で帰ることも考えて、事前に駅のバリアフリー状況を調べて参加したのですが、行橋駅から中津駅まで10駅あるなかで、エレベーターがあるのは、両駅と宇島駅の3つだけ。この地域に住んでいる障害のある仲間は、気軽に小倉に遊びに出ることもできないんでしょね。彼らが感じているであろう移動の不自由さに思いをはせたウォーキングでした。

どこに住むかで権利の充足に差があってはいけませんよね。

宇島駅を少し過ぎた住宅街を歩いていると、沿道で車いすの女の子がウォーカー(参加者)に声援を送っていました。

「これからの社会は、彼女のような、これからの障害者が自由に外出し社会参加できる社会にならなければいけない。」

交通バリアフリー運動の必要性を改めて実感した一日でした。

(了)

Oh-Life

第16回 ゆとりのヲタク生活も身体が資本!?

K II

僕が一人暮らしを始めて、もう2か月が過ぎた。今、振り返ってみるとなかなか濃厚な2か月だった。いつの間に一人暮らしを始めたの?という人も多いかもしれない。そう、僕は少し前から一人暮らしを始めたのである。色々と経緯を書いた方が良いでしょう。面倒くさいので割愛しようと思う。

間の悪いことに、一人暮らしの直前に大風邪を引いてしまった。直前までにだいたいの症状は治ったのだが、喘息が残ってしまったので、僕の一人暮らしは本調子とはほど遠い状態での幕開けとなってしまった。だが、始まった以上、そこからは全てにおいて必死だった。洗濯・掃除などの通常の家事に加え、それに伴う指示出しや確認など、今までの日常生活では全く異なる生活を送るのである。一人暮らしの初日に、初めての介助が終わった時の自分の汗まみれの顔は今でも忘れられない。その時は、“介助を受けること”=肉体労働なのかと錯覚してしまった。そのせいか、一人暮らしを始めて1週間も経たないうちに、喘息をこじらせて救急病院に運ばれることになってしまった。

それから、しばらくは喘息→風邪→喘息→風邪・・・と繰り返していた。日頃から体調には気を使っていたのだが、環境が大きく変わったせいか、なかなか思うように体調が整わなかった。その頃は「この体調不良がずっと続くのではないかと本当不安だった。まあ、最近では体調もかなり安定してきているので、とりあえず一安心である。「身体が資本」ということをとても痛感した2か月だった。

この流れのままだと、僕の一人暮らしがキツイことばかりだと思われてしまいそうなので、少し興味深いことと、楽しいことも書いておこう。

我が家では週に何回かモップかけをするのだが、そこで集まる髪の毛の量が少し多い気がするのである。家族3人の時は、床に髪の毛が落ちていても、特に気にはならなかった。だが一人になって、この落ちていた髪の毛の全てが自分のものである可能性があると考えるとかなりゾッとするものがある。

はじめて見た時は、「一人暮らしのストレスで髪がどんどん抜けていっているんだ」と思っていた。ネットで調べてみると1日に50本~100本くらいの髪の毛が抜けるらしいので、それを考えると特に驚く必要は無かったのだが。一人暮らしを始めたからこそわかった発見である。

最後に楽しいことなのだが、これが・・・特に思いつかないのである。別に楽しいことをしていないわけではない。一人暮らしを初めてからも、アニメも見るし、マンガも読むし、ゲームもする。一人暮らしになってからは家事などをするので、一人暮らし前のように遊ぶことはできなくなったが、遊べる場所ではキッチリ遊んでいるので、実質とんとんぐらいではないだろうか。とりあえず、一人暮らし前と同じようにヲタクライフを満喫しているのである。僕の現段階での一人暮らしの目標は「一人暮らし前と同じように、健康で普通に楽しい生活を過ごす」なので、まあ良くも悪くもこの目標に近い生活を過ごせているのではないだろうか。しかし、現状維持を目標の前面に押し出すあたり、僕も「ゆとり世代」なのだたと改めて実感する(笑)

それと新しい趣味というわけではないが、映画鑑賞は、日常のストレスを忘れるにはちょうど良いなと実感した。

そんなこんなで、僕の一人暮らしはまだ始まったばかりなのだが、これからどんなことが起こるのだろうか。正直、楽しみも不安もごちゃ混ぜな気分だが、一つ一つ丁寧に日々を過ごしていければ良いなと思う。とりあえず、これから寒くなっていくので、この冬を健康に乗り切ることを考えようか(笑)

日々凡凡

日々日常を大切に過ごそうと思い、何が何やらわからないうちに日々が異常な速さで過ぎます。ぶるーむが本気で障害者の権利、自立について考える自立生活センターへ変わろうとして1年以上が経とうとしています。その経過のなかでスタッフ同士、障害ってそもそもなに？自立ってなに？最初の位置まで戻って議論をし、今後の障害者運動に必要なこと。障害者がどうすれば社会から個人として尊重されるか考えてきました。

そもそも現代での障害ってなんだ？医学モデルから社会モデルへの変革。『障害は本人によるものではなく、社会によって作り出されるものである』となっています。では社会が作り出すとはどんな意味なのでしょう。食事をするために出かけた段階で入れない。入試が受けられない。入浴を週2回に限定される。など日常を送ろうとしたときに社会から障害を受けるわけです。受ける障害は複数になり多岐にわたるでしょう。そして受けている障害を無くすことで障害は取り除ける訳です。ということは単純に身体だとか知的だとか精神的だとか判断されるのではなく、状態、環境にもよるし、社会から受ける障害によって変わっていく訳です。

では障害者本人が障害を感じなければその人は障害者ではないのか。その当事者が日々の中で行動が制限されることなく、健常者と同じ選択肢を提供されていれば障害はないということです。しかし一度普段の行動と違うことをしようとすればバリアにあたり、そこで新たな障害に出会うのです。社会モデルでは障害は社会に出ていかなければ障害者になりえないのです。どんなに整備の整った施設や自宅で過ごそうとも、その他の選択肢に気づき、行動を起こそうとした瞬間に様々な障害に直面します。そして障害を解消していくことで障害を無くしていき、健常者と同じ権利、同じ選択肢、同じ責任を取り戻して行く訳ですね。障害者が障害者として生きていくのではなく、自分が受けている障害と戦い、取り除いてゆき、みんなで障害をなくしていき、個人の尊厳を取り戻す運動が必要不可欠なのです。

しかし、どこのセンターでも抱える問題ですが、若い当事者スタッフが不足しています。先人達の運動のおかげで制度やインフラがある程度整い、行動にあまり制限が掛からなくなりました。そうすると運動の意識が下がってくるのは必然です。しかし先日、日本の人口が減少に転じました。税収が減ります。日本に多大な影響力をもつアメリカさんもトランプさんの影響でごたついています。国防費だ思いやり予算が増えて日本の支出が増え、社会保障も削減される方向に動いていくのでしょうか。その時一番生活を脅かされるのは、社会から障害を受けている当事者たちではないでしょうか。短絡的ですが現実起こり得る事です。その時運動がなければ、声を大きく権利を主張しなければ、なすがままに生活や介助時間数を取り上げられ、生活を奪われます。介助を受けるのも自己の幸福を追求するのも憲法に定められた権利です。

しかし、この権利を本人達が主張していかなければ財務の状況により障害者の生活は変わってしまいます。権利や尊厳は財務状況によって変動してはなりません。日本国民が最低限保証されるべきものです。しかし、現在は介助時間数も取りにくく、時間数を減らされた話も珍しくありません。残念ながら継続して運動を行っていかなければ、今の生活は保障されたものではないのです。そのことを伝え、人に任せるのではなく、自分の生活を守っていく力をつけ、運動を途切れることなく続けていくことが重要ではないでしょうか。自由を取り上げられ、一定の社会の中でしか生活させてもらえない、できないのであれば、それは隔離政策となんら変わりありません。そして自分でNOと言えない人たちが間違った合理的配慮のもとに住み慣れた家から施設へ移される。こんなことがおこなわれる可能性は十分にあるのです。

私たちは社会から障害を受け、それでも一人の人間として生きようとする当事者の声なき声を代弁していく使命もあります。障害とは社会が許容できるかどうかです。メガネをかけている人を障害者とは呼びません。それは目が悪いことで生じる障害をメガネで補い社会生活を送れているからです。頭髪が薄い人を障害者とは呼びません。それは頭髪があっても無くても実生活の中で支障をきたさないからです。各個人の主観による好みは障害とは言いません。それでも生き辛さは感じるでしょうが障害ではないのです。

もし車イスでどこでも行ける社会が実現したとすれば一つ障害がなくなり、その事だけで言えば障害は無くなっています。すると社会は車イスに乗っている人を障害者と呼ばなくなるかもしれません。時間を把握できない障害がある人がいます。1日のスケジュールを携帯に入力しアラームで知らせてくれます。

するとこの人は時間を把握できない障害を解消できるかもしれません。このように、今の社会で自分がどのような障害を受け、どうしたら解消できるかを考え訴えていかなければ障害はなくなりません。これは障害者が社会にでて障害に向き合う事が前提なので、社会の気まぐれな善意や『やってもらう』姿勢では成立しませんし、障害にすら気がつきません。自分に何ができて出来ないのかも気がつかせてもらえないからです。どうやれば一人一人の障害が無くなるのかをみんなで考え、そこに当たり前存在する人になるためにどうすればいいか考えることが必要なのです。

数多くある医学的な障害に対し、社会に訴えることも必要ですが、全ての国民に医学的な障害を理解し配慮してもらうにも限度があります。他人に対し、そこまで興味をもつ人は少数ですから。当たり前のことですが、人は生まれた場所や性別や疾病などで差別されることはなりません。ですから自己紹介の時に自分の生まれた場所も医学的な疾病名を名乗る必要性も無いわけです。自分に必要な配慮と介助を受け、人と対等に他人と付き合い合える状況、姿勢がとても大切なのではないでしょうか。社会モデルが提唱されて10年以上経ちますが、社会の障害の認識の多くは未だに医学モデルです。これを変えていくには当事者も医学的な障害名を横に置いて、一人の人間として生きる配慮を受け、社会の中で当たり前生きていこうとすることが重要なのです。

まだまだ障害者には生き辛く当たり前前に生活できない時代が続きます。ですが諦めずに少しでも前に。打ちのめされても立ち続けければ最後は勝つんですから。自分の人生が終わる前には今よりちょっとはマシな世界が見られるように。日々凡々とぼちぼち行きますか。

たかお りゅうた
高尾 竜太

女性介助者 緊急募集!

私の障害は脳性麻痺です。
今は施設にいます。
けど施設を出て1人暮らし
がしたいのです。
誰かヘルパーになって下さいね
年は56歳ですけど気持ちは
若いです。私が1人暮らしをしたら
一番にやりたいことはお酒を飲んだり
カラオケに行ったりして遊んで
みたいです。9歳から施設に入って
今までそんな遊びをやったことが
ありませんので誰かヘルパーに
なってくださいね!

[勤務時間](例)

- ① 7時～13時 ② 13時～18時
 - ③ 18時～23時
- 時給1200円(夜間1500円)



特定非営利活動法人自立生活センターぶるーむ
北九州市小倉北区豎町2丁目1番5号豎町ビル1F
電話 093-583-3257
ホームページ <http://homepage3.nifty.com/cil-bloom/>

かつどう ほうこく
活動報告

へいせい ねん がつ へいせい ねん がつ
平成28年5月~平成28年7月

がつ
5月



すいしんきょうかい さ が ながさき こうし かいぎ
推進協会佐賀・長崎 I L 講師スカイプ会議

ピアカウンセリング 集中講座⑥

きたきゅうしゅうしんたいしょうがいしゃそだんいんけんしゅう
北九州市身体障害者相談員研修

じりつせいかつ ちょうきこうざ
自立生活プログラム長期講座①

すいしんきょうかい さ が ながさき こうし かいぎ
推進協会佐賀・長崎 I L 講師スカイプ会議

J I L 介助サービス委員会スカイプ会議

きたきゅうしゅう いけんこうかんかい
北九州モノレールとの意見交換会

よろず!!

じりつせいかつ ちょうきこうざ
自立生活プログラム長期講座②

けんしゅう どうじしやたいけん
ヘルパー研修④B「当事者体験」

きゅうしゅうむ じんえきもんだいこうしょう
JR九州無人駅問題交渉

じりつせいかつ ちょうきこうざ
自立生活プログラム長期講座③

にしにほんこうぎょうだいがくでまえこうし
西日本工業大学出前講師

がつ
6月



しょうだんれんそうかい
障団連総会

じりつせいかつ ちょうきこうざ
自立生活プログラム長期講座④

しゅうぼうがくしゃでまえこうし しょうがい ひと じんけん
周望学舎出前講師「障害のある人の人権」

じりつせいかつ ちょうきこうざ
自立生活プログラム長期講座⑤

よろず!!

がつ
7月



じりつせいかつ ちょうきこうざ
自立生活プログラム長期講座⑧

J I L 介助サービス委員会合宿

きゅうしゅう けんしゅう
JR九州カスタマーサポート研修

ふくおかとくべつしえんがっこうでまえこうざ
福岡特別支援学校出前講座

よろず!!

じりつせいかつ ちょうきこうざ
自立生活プログラム長期講座⑩

きゅうしゅう けんしゅう
JR九州カスタマーサポート研修

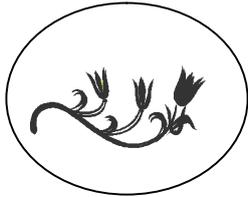
おりおあいしんこうこうでまえこうざ
折尾愛真高校出前講義

しものせきひこじま
下関彦島BBQ

へん しゅう こう き
編集後記

れんさい なか か ひとりく はじ さむ
 連載の中でも書いたように、一人暮らしを始めました。これから寒くなっていきます
 が、何事もなく冬を越したいものです（笑） 【KⅡ】

■ **ロゴについて** ■



この3つが繋がったチューリップには、3J = 「自己選択」「自己決定」「自己責任」の意味と、この北九州の地で自分らしい、いきいきとした花を咲き誇らせてほしい・・・という願いがこめられています。

■ **会員募集** ■

自立生活センターの最大の特徴は、運営や各種サービスを「障害者」自らが中心となって行っていることです。これは、「障害者」にとって何が必要かということが一番知っているのは「障害者」自身であると考えるからです。

「自立生活センターぶるーむ」はこの考えのもと、2007年10月に産声をあげました。当団体の活動は、皆さまからのご寄付と会費により支えられています。

ご支援とご協力をお願い致します。

会員種別	年会費
正会員 当法人の目的に賛同し、法人の活動に責任を持って参加していただける個人の方。	3,000円
賛助会員 当法人の事業を資金面などで賛助していただける個人及び団体の方。	5,000円

【銀行振込】 銀行名：西日本シティ銀行 室町支店
 口座名義：特定非営利活動法人 自立生活センターぶるーむ 理事 田中雄平
 口座番号：1694039

編集人 NPO法人 自立生活センターぶるーむ
 連絡先 〒803-0818
 福岡県北九州市小倉北区豎町2-1-5 豎町ビル1F
 TEL 093-562-5431
 FAX 093-583-3257
 E-Mail cil-bloom@nifty.com
 URL <http://homepage3.nifty.com/cil-bloom/>

定価 100円